

自宅受講型講座を無料開講

徳島文理大
香川薬学部

徳島文理大学香川薬学部が、現職・離職薬剤師を対象に自宅受講型のeラーニング講座として開講している「副作用診断教育プログラム」の無料開講が

16日から始まった。副作用診断講義コースに新たに追加した講座を、無料で開講した。今年12月にも無料講座を追加する予定だ。

同プログラムは、医師や薬剤師が講師になって、副

作用の発生機序や原因薬剤、副作用の診断プロセスなどを解説。重篤な副作用疾患を早期に発見し、重篤化を未然に防ぐ能力を養うことができる。

1講座当たり5回の講義と5回の演習トレーニング、確認試験がセットになった副作用診断講義コースにはこれまでA～Fまで計6講座が設けられていた。今回、文部科学省・大

学間連携共同教育推進事業「四国の全薬学部の連携・共同による薬学教育改革」の一環として新たにG講座が作成され、無料で受講できるようになった。G講座の5回の講義内容は、▽副作用と免疫のしくみ▽ギラ作用▽インバレー症候群▽甲状腺中毒症・機能低下症▽口腔所見にみる副作用症例前編▽同後編——となっている。今年12月に追加されるH

講座も無料で受講可能だ。

その講義内容は▽副作用回避と新時代の薬剤師―総論▽腫瘍崩壊症候群▽ビスフォスフォネート系製剤による顎骨壊死▽大腿骨頭壊死、骨粗鬆症▽手足症候群を中心に―というもの。

副作用診断講義コースのA～F講座の受講料は各3500円。このほか、臨床の基本的知識を解説したベーシックレクチャコースもあり、ベーシックレクチャI～IIIを各1000円で受講できる。これらのプログラムは入金後1年間、インターネットに接続できる環境があれば、時間や場所を問わず、何度でも受講できる。URLは<https://kp.manabinaoshi.jp/>